

中等教育レベル カリキュラム  
(グレード 9-10)

日本語

# 1. はじめに

日本語は人気のある外国語です。日本への留学を希望するネパールの学生の間では、日本語の学習需要が高まっています。このような背景から、ネパールの中等教育レベルのカリキュラムでは、外国語としての日本語は選択科目となっています。日本語をカリキュラムに組み込むことは、国の社会経済的発展を確実にするための大きな一歩となるでしょう。さらに、ネパール政府がカリキュラムの一部として日本語を導入する主な意図は、学生に外国語でコミュニケーションを取ることに自信を持たせ、日本の大学で高い教育を受ける資格を得るための道筋を作ることにあります。グレード9からグレード10までの2年間の日本語コースでは、学生に基礎的な言語能力を身につけさせ、日本での留学や就労に必要な語学試験に合格できるようにすることを目的としています。

カリキュラムの作成にあたっては、多くの要素が考慮されました。このコースでは、日本語と日本文化に関する実践的かつ理論的な知識という点で、ネパールの学生の要求を満たすことが期待されています。また、ネパールにあるさまざまな日本語教育機関や関連施設の代表者による議論や提案を取り入れたカリキュラム作成に重点が置かれています。ネパールの高等教育機関や中等教育機関の学生の現状については、できる限り多くの問題点を考慮して慎重に記載しています。また、より読みやすくするために、イラストを交えて紹介するようにしました。このコースの目的は、日本の短期大学・大学の学士課程・大学院の修士課程への進学を希望するネパールの学生に、日本語・日本の社会と文化・その他必要な科目の予備教育を行うことです。

# 2. コンピテンシー

グレード10の修了までに、学生は以下のコンピテンシーを達成します。

1. 簡単な話し言葉の理解をすることができる。
2. 簡単な日本語と、わかりやすい発音で反応することができる。
3. 授業内外でのコミュニケーションに日本語を使うことができる。
4. 簡単な文章を読んで、理解したり楽しんだりすることができる。
5. 簡単な日本語を使って、自分の意見や考え、感情を表現することができる。
6. 仲間と一緒に言葉を学ぶことができる。
7. 他の人に、きちんとした日本語の敬語で話しかけることができる。
8. 以下の漢字の読み書きと認識ができる。

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、百、千、万、円、私、父、母、友、達、名、兄、姉、妹、弟、日、月、火、水、木、金、土、年、週、間、時、分、午、今、半、毎、山、川、田、海、車、大、小、多、少、雨、先、生、学、子、好、上、下、手、男、女、肉、魚、牛、音、上、下、右、左、前、後、中、外、間、人、何、本、食、飲、見、勉、強、買、行、来、読、書、帰、入、出、立、言、休、話、聞、目、耳、頭、顔、首、手、足、新、古、高、安、白、長、短、好、元、親、語、英、漢、字、門、海、道、住、所、外、北、南、東、西、京、国、世、界、番、号、
--

9. 次の文法構造を正しく使用できる。

ます-形 ませんか

ます-形 ましょう

ます-形 たいです

ます-形 にいきます

ます-形 ましょうか

て-形 ください

て-形 います/いました

て-形 もいいです

て-形 はいけません

て-形 から、

て-形 あげます

て-形 もらいます

て-形 くれます

ない-形 ないてください

ない-形 なければなりません

ない-形 なくてもいいです

[辞書形]

辞書形 + ことができます

辞書形 + ことです

辞書形 + まえに、

辞書形 + と、

た-形 + ことがあります

た-形 + り、た-形 + り します

[普通形]

普通形 + とおもいます

普通形 + といいます

動詞の普通形 + でしょう？

い形容詞の普通形 + でしょう？

な形容詞の普通形 —だ + でしょう？

名詞の普通形 —だ + でしょう？

い形容詞 -い/-く + なります/なりました

な形容詞 -に + なります/なりました

名詞 -に + なります/なりました

動詞の普通形 名詞

動詞の普通形 + とき

い形容詞の普通形 + とき

な形容詞 + なとき

名詞+のとき  
普通形+ら  
動詞のて-形+ も  
い形容詞-くて+も  
な形容詞 で+も  
名詞+で+も

### 3. グレードごとの学習成果

#### 3.1. 聴解

##### グレード 9-10

1. ひらがなとカタカナの拗音、促音、濁音、半濁音、長音を発音し、その識別と判別ができる。
2. 簡単な会話を聞いて理解することができる。
3. 先生、クラスメート、友達が話す言葉を理解することができる。
4. 簡単な命令に反応することができる。
5. 質問に答えることができる。
6. 先生や音声に対して、口頭または非口頭で答えることができる。
7. 簡単な形で挨拶に反応することができる。
8. ネイティブスピーカーが話す簡単な単語や文章を理解することができる。
9. 質問の内容を理解し、正しく答えることができる。
10. 使用されている漢字が正しいかどうかを判断することができる。
11. 様々な歌や物語を聞き、理解することができる。

### 3.2. 会話

#### グレード 9-10

1. ひらがなとカタカナの拗音、促音、濁音、半濁音、長音を正確に読み、発音することができる。
2. 先生やクラスメートに、一般的な挨拶の言葉を使って挨拶することができる。
3. 教室内で使う簡単な命令をすることができる。
4. 自分についての基本的な情報（名前、住所、家族、年齢、国籍など）を短い単語やフレーズで伝えることができる。
5. 一般的な数え方（人数、順番、枚数、機械や乗り物、年齢、冊子、回数、小さな物体、階数、長い筒状の物体、杯数など）ができる。
6. 1 から 1 億 までの数字を数えたり、読んだりできる。
7. 正確な日付、時刻、曜日を伝えることができる。
8. 適切な文法を使って、単語、句、文章を真似して作ることができる。
9. 先生や友達と簡単な会話をすることができる。
10. 簡単な現在形、現在形の否定形、過去形、過去形の否定形を使って話すことができる。
11. 正しい文法構造を使って、簡単な質問をしたり、答えたりすることができる。
12. 自分の日常生活、スケジュール、計画について話すことができる。
13. 簡単な言葉で天気を説明することができる。
14. 自分や人の好き嫌い、趣味、能力（できること、できないこと）などを表現することができる。
15. 特定の物、場所、人の正確な位置を伝えることができる。
16. 地図を使って、特定の場所の情報を伝えることができる。
17. 仮定の状況について話すことができる。
18. 他の人からもらったり、あげたりした物や好意について話すことができる。

### 3.3. 読解

#### グレード 9-10

1. ひらがな、カタカナ、拗音、促音、濁音、半濁音、長音を読むことができる。
2. 学習した漢字を読むことができ、その漢字から作られた単語を読み、送りがなを付けて読むことができる。
3. 単語を組み合わせて、単語や文章を読むことができる。
4. 文章や短いパラグラフを正しく読むことができる。
5. 物語や手紙など、さまざまな種類の読み物を理解することができる。
6. 文章を読んで特定の情報を取得することができる。
7. 文脈から知らない言葉の意味を推測することができる。
8. 辞書を引いて言葉の意味を調べることができる。
9. グラフ、表、地図などのテキストから必要な情報を取得することができる。
10. 短編小説を楽しく読むことができる。
11. 簡単な説明を読むことができる。
12. 日記、簡単な手紙、メールを読むことができる。
13. 接尾語と接頭語が付いた単語を読むことができる。

### 3.4. 筆記

#### グレード 9-10

1. ひらがな、カタカナ、拗音、促音、濁音、半濁音、長音を筆順で書くことができる。
2. 正しい筆順に沿って、正しく漢字を書くことができる。
3. 異なる文字を組み合わせて単語を作り、その単語を正しい順序で並べて簡単な文章を作ることができる。
4. 単語を正しいつづりで使うことができる。
5. 自分で簡単なフレーズや文章を書くことができる。
6. 名前、住所、生年月日など、自分の個人情報を書くことができる。
7. 口述語した単語、フレーズ、文章を書くことができる。
8. 句読点を正しく使うことができる。
9. 文法形式を正しく使って文章を作ることができる。
10. 簡単な接続詞を使って、文章をつなげることができる。
11. 自分、人、場所、物事について簡単な文章（パラグラフ）を書くことができる。
12. 単語を使って意味のある文章を作ることができる。
13. 複合語を作ることができる。
14. 短くて簡単なメッセージ、手紙、文章を書くことができる。

## 4. 内容の範囲と順序

### 4.1. グレード 9

内容	内容の詳細	内容の推敲	学習方法	時間
1. 文字	ひらがな	<ul style="list-style-type: none"> <li>-ひらがな 46(1回の授業で5文字、各文字から5つ例の単語)</li> <li>-母音 5 (基本母音: あ・い・う・え・お)</li> <li>-子音 40 (その他子音)</li> <li>-拗音 (例: しゃ・きゃ・ちゃ など)</li> <li>-促音 (例: きて・きつぷ など)</li> <li>-濁音 (例: が・ぎ・ぐ・げ・ご など)</li> <li>半濁音 (例: ぱ・ぴ・ぷ・ぺ・ぽ など)</li> <li>-長音 (例: おばあさん・ゆうき など)</li> <li>-学習した単語の発音とアクセント(拗音、促音、濁音、半濁音、長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-筆記練習</li> <li>-なぞり書きと認識</li> <li>-文字合わせ</li> <li>-文字カードゲーム</li> <li>-歌 (ひらがな・カタカナ)</li> <li>-解読</li> <li>-聴解・読解・筆記</li> <li>-演技・ロールプレイ</li> <li>-ぬりえ・描画</li> <li>-パズル</li> </ul>	30 時間
	カタカナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>-カタカナ 46</li> <li>-拗音 (例: シャ・キャ・チャ など)</li> <li>-促音 (例: サッカー・バット など)</li> <li>-濁音 (例: ガ・ギ・グ・ゲ・ゴ など)</li> <li>半濁音 (例: パ・ピ・プ・ペ・ポ など)</li> <li>-長音 (例: テーブル・グループ など)</li> <li>-学習した単語の発音とアクセント(拗音、促音、濁音、半濁音、長音)</li> <li>-カタカナの解説、発音と使い方</li> <li>-学生の練習用として、主に使われるカタカナ語のリストを提供</li> </ul>		

2. 教室の言葉	挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>-教室や日常生活で使われる挨拶や言葉</li> <li>(例:おはようございます、こんにちは、こんばんは、お休みなさい、さようなら、また あした、始めましょう、終わりましょう、入ってもいいですか、出てもいいですか など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-会話</li> <li>-挨拶</li> <li>-歌</li> <li>-ロールプレイ</li> <li>-ドリル</li> </ul>	6 時間
3. 数字と数え方	数字	<ul style="list-style-type: none"> <li>-1 から 10000 までの基本的な数字と 1 から 1 億までの金額の言い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-数え方ゲーム</li> <li>-金額を読む練習</li> <li>-ドリル</li> <li>-ロールプレイ</li> <li>-所有物の数を尋ねる練習</li> <li>-カレンダーや時計を使った練習</li> <li>-物と単語を合わせる</li> <li>-なぞり書き</li> </ul>	22 時間
	数え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>-日本で使われている数え方を、対象の物の特徴に合わせて紹介</li> <li>(例: 小さな物体、人数、年齢、冊子 など)</li> </ul>		
	日と月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-日付け(日と月)についての言い方</li> <li>-期間の表現</li> </ul>		
	曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>-1 週間の曜日の言い方</li> <li>-曜日について質問して回答(例: 今日は何曜日ですか など)</li> </ul>		
	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-1 年の月の言い方</li> <li>-月について質問して回答(例: 今日は何月ですか など)</li> </ul>		
	時間(時、分、秒)	<ul style="list-style-type: none"> <li>-時間の〇時・〇分・〇秒の表現の仕方</li> </ul>		
	年齢	<ul style="list-style-type: none"> <li>-自分の年齢の言い方、人の年齢を尋ねる言い方</li> </ul>		
	漢字	<ul style="list-style-type: none"> <li>-一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、百、千、万、円、日、月、火、水、木、金、土、年、週、間、時、分、午、今、半、毎</li> </ul>		
4. 指示語と代名詞	これ・それ・あれ・どれ	<ul style="list-style-type: none"> <li>-指示語(これ・それ・あれ・どれ)の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-ロールプレイ</li> <li>-教室にある物を使った練習</li> <li>-指示語を使った物の説明</li> <li>-物のある場所を尋ねる練習</li> <li>-質問と回答</li> <li>-ドリル</li> <li>-会話</li> </ul>	10 時間
	ここ・そこ・あそこ・どこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>-指示語(ここ・そこ・あそこ・どこ)と丁寧形(こちら・そちら・あちら・どちら)の紹介</li> <li>-より丁寧な表現(この・その・あの・どの+名詞の文法)の紹介</li> </ul>		
	代名詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>-基本名詞と代名詞</li> <li>(例: わたし、あなた、かれ、かのじょ など)</li> </ul>		



5. Be 動詞	助詞	-文章を作るのに必要な基本的な助詞（例：です、あります、います、 そうです、そうではありません）と接続助詞（例：は、の、と、も、 か、から、まで など）	-ペアで文章作成と練習 -会話 -質問と回答 -ドリル -ロールプレイ	6 時間
	変形	-です/でしたの変形 です：では/じゃありません でした：では/じゃありませんでした		
6. 私と家族	自己紹介	-簡単な単語を使った自己紹介の方法 （例：私はラムです。家はパタンです。）	-自己紹介 -他己紹介 -家族と職業について尋ねる -会話 -絵の説明 -ロールプレイ -質問と回答	10 時間
	他己紹介	-簡単な単語を使って、友達や他の人を紹介する方法		
	家族	-家族について紹介する方法 （例：父、母、姉、兄、妹、弟、祖父、祖母、夫、妻、息子、娘 など） -家族の職業		
	漢字	私、父、母、友、達、名、兄、姉、妹、弟		
7. 時制	一般動詞	-日常で使われる簡単な一般動詞の学習	-一般動詞を使って文章作成 -会話 -ロールプレイ -質問と回答 -行った行動に対する説明	10 時間
	現在形と過去形	-学習した動詞の過去形と過去形を否定形に変換 （例：ます→ません、ました→ませんでした）		
	助詞	-学習した動詞と一緒に使われる助詞の学習 （例：へ、に、を、で など）		
8. 形容詞	い形容詞 な形容詞	-い形容詞の紹介（例：あつい、さむい など） -な形容詞の紹介（例：ハンサム、きれい など）	-様々な物の性質について説明 -様々な物の比較 -ゲーム -天気についての会話 -屋外の観察 -絵で説明 -ペア作業・グループ活動 -質問と回答 -会話	15 時間
	文法	-い形容詞の現在形と否定形 -な形容詞の現在形と否定形 -形容詞と一緒に使われる「が」助詞の紹介 -い形容詞とな形容詞 + 名詞		
	物事の説明	-学習した形容詞と名詞を使って、色々なことについての説明		
	天気の説明	-学習した形容詞と名詞を使って、天気についての説明		
	漢字	山、川、田、海、車、大、小、多、少、雨		

9. 趣味や関心	好き嫌い	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「好き」「きれい」を使って自分のすききらいを言う方法</li> <li>- 人の好ききらいを尋ねる (例：りんごが好きです。みかんがきれいです。など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 質問と回答</li> <li>- ドリル</li> <li>- 好ききらいを尋ねる練習</li> <li>- 能力を尋ねる練習</li> <li>- 会話</li> </ul>	10 時間
	能力の表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 上手、下手、わかります、できますなどの言葉を使った会話</li> <li>- 人に何が出来るかを尋ねる (例：ダンスができます。日本語が下手です。中国語がわかりません。など)</li> </ul>		
	漢字	先、生、学、子、好、上、下、手、男、女、人、肉、魚、牛、音		
10. 環境	場所の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 特定の物、人、場所の正確な位置を説明 (例：かばんはベッドの上にあります。など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 質問と回答</li> <li>- ドリル</li> <li>- ロールプレイ</li> <li>- 会話</li> <li>- 絵を描いて説明</li> </ul>	6 時間
	漢字	上、下、右、左、前、後、中、外、間、人、何、本		
<b>学期試験</b>				<b>3 時間</b>
<b>合計</b>				<b>128 時間</b>

## 4.2. グレード 10

内容	内容の詳細	内容の推敲	学習方法	時間		
1. 教室の言葉	挨拶	-中級レベルの教室や日常生活で使われる挨拶や言葉	-会話 -挨拶 -ロールプレイ -歌 -グループ学習	2 時間		
2. 数字と数え方	数え方	-長い筒状物体の数え方 (例: 一本、二本、三本、何本 など) -階数の数え方 (例: 一階、二階、三階、何階 など) -杯数の数え方 (例: 一杯、二杯、三杯、何杯 など) -順番の数え方 (例: 一番、二番、三番、何番 など) -冊子の数え方 (例: 一冊、二冊、三冊、何冊 など)	-数え方ゲーム -様々な形やサイズの物を数える練習 -会話 -ドリル -ロールプレイ	10 時間		
3. 欲求	欲しい (~たい)	-「名詞 + がほしいです」文法形式の紹介 (例: 車がほしいです。友達がほしいです。など) -「動詞のます-形 + たい」文法形式の紹介 (例: 日本へ行きたいです。ご飯を食べたいです。本を買いたいです。など) -「動詞のます-形+に行きます」文法形式の紹介 (例: ご飯を食べに行きます。日本へ留学しに行きたいです。など)	-ロールプレイ -ペアワーク -会話 -ドリル	8 時間		
	漢字	食、飲、見、勉、強、買、行、来、読、書				
4. 時制	動詞の説明	-動詞をグループ I、グループ II、グループ III の 3 つのグループに分類 -グループに応じて動詞をて-形に変形:	-ロールプレイ -ペアワーク -会話 -依頼をする練習 -質問と回答 -ドリル -リスト作成	20 時間		
		グループ I			グループ II	グループ III
		い、ち、リ=って み、び、に=んで き =いて ぎ =いで し =し+て			動詞のます-形 + て	来ます-きて します-して 名詞+します-名詞+して
	現在進行形	-現在進行形「て-形+います」文法形式の紹介 (例: 私は本を読んでいます。サパナさんはご飯を作っています。など)				
	過去進行形	-過去進行形「て-形 + いました」文法形式の紹介 (例: 私は本を読んでいた。サパナさんはご飯を作っていました。など)				
文法	-「て-形 + ください」文法形式の紹介 (例: 新聞を読んでください。宿題を書いてください。言ってください。など) -「て-形 + から、」文法形式の紹介					

		(例: ご飯を食べてから宿題を書きます。など) -他動詞の前に「を」助詞の紹介 (例: ご飯を食べます。など)		
	漢字	帰、入、出、立、言、休、話、聞		
5. 承認	許可を求める	-「て-形+もいい」文法形式の紹介 (例: 入ってもいいですか。座ってもいいですか。など)	-ロールプレイ -ペアワーク -許可を求める練習 -禁止をする練習 -会話 -ドリル -質問と回答	8 時間
		-「動詞のます-形+ましょうか」文法形式の紹介 (例: いきましょうか。きましょうか。しましょうか。など)		
	禁止	-「て-形 + はいけません」文法形式の紹介 (例: 入ってはいけません。食べてはいけません。飲んではいけません。など)		
6. 形容詞	い形容詞の過去形	-い形容詞の過去形と否定形 (例: 暑かったですー暑くなかったです。など)	-会話 -ロールプレイ -質問と回答 -物の説明 -部屋の説明 -ドリル	5 時間
	な形容詞の過去形	-な形容詞の過去形と否定形 (例: ハンサムでしたーハンサムじゃありませんでした。)		
	文法	-形容詞と一緒に使う「が」助詞 -名詞と一緒に使うい形容詞とな形容詞 -形容詞と名詞を組み合わせて、いろいろなことを説明する。 い形容詞 + い形容詞/な形容詞、な形容詞 + な形容詞/い形容詞、い形容詞/な形容詞 + 名詞、名詞 + い形容詞/な形容詞、名詞 + 名詞 -「い形容詞 ーくて + い形容詞/な形容詞/名詞」の文法形式の紹介 (例: この部屋は広くてきれいです。など) -「な形容詞ーで + い形容詞/な形容詞/名詞」の文法形式の紹介 (例: この部屋はきれいで広いです。など) -「名詞 ーで + い形容詞/な形容詞/名詞」の文法形式の紹介 (例: シータさんは19歳で独身です。など)		
	漢字	目、耳、頭、顔、首、手、足		
7. 否定形	否定形の要求	-動詞の否定形(ない-形)と「なければなりません」と「なくてもいいです」の学習	-ロールプレイ -要求する練習 -質問と回答 -ドリル -会話	10 時間
	文法	-動詞のない-形 + ください (例: 話さないでください。など) -動詞のない-形 -ない + ければなりません (例: 行かなければなりません。など) -動詞のない-形 -ない + なくてもいいです (例: 行かなくてもいいです。など)		
	漢字	新、古、高、安、白、長、短、好、元、親		

8. 趣味と能力	趣味や能力について尋ねる	-趣味や特技についての会話 (例：私の趣味は絵を描くことです。私は泳ぐことができます。など)			-ロールプレイ -ペアワーク -会話 -質問と回答	10 時間
	文法	-「辞書形 + ことができます」の文法形式の紹介 (例：日本語を話すことができます。) -「辞書形 + まえに、名詞 + のまえに、時間 + まえに」の文法形式の紹介 (例：寝るまえに、薬を飲みます。会議のまえに、準備をします。) -グループ I、グループ II、グループ III に応じた動詞の辞書形の紹介 -グループに応じて動詞を辞書形に変形：				
		グループ I	グループ II	グループ III		
		ます - 形の前の「い」を「う」に変更する 例： 買います - 買う 行きます - 行く	ますを「る」に置き換える 例： 食べます - 食べる います - いる	下記の通りに変える 例： します - する 来ます - 来る		
漢字	語、英、漢、字、門、海、道、住、所、外					
9. 経験共有		-経験を表現する「た形+ことがあります」の文法形式の紹介 (例：日本へ行ったことがあります。など) -習慣を表現する「た-形 + り、た-形 + り します」文法形式の紹介 (例：本を読んだり、アニメを見たりします。など)			-ロールプレイ -ペアワーク -会話 -経験したことの会話 -習慣的な活動の会話 -質問と回答	8 時間
	文法	-「た-形」の文法形式の紹介 -「い形容詞/な形容詞/名詞 + 動詞」の文法形式の紹介 い形容詞 —い —く + なります/なりました  (例：暑くなります/なりました。) な形容詞 —に + なります/なりました (例：上手になります/なりました。) 名詞 —に + なります/なりました (例：二十歳になりました。) -グループに応じて動詞をた形に変形：				
		グループ I	グループ II	グループ III		
		い、ち、り=った み、び、に=んだ き =いた ぎ =いだ し =し+た	動詞のます-形 + た	します=した きます=きた 名詞+します=名詞+した		
漢字	北、南、東、西、京、国、世、界、番、号					

10. フォーマルでない形	普通形	-動詞、形容詞、名詞の普通形の紹介			-ロールプレイ -ペアワーク -会話 -ドリル -質問と回答	8 時間
	文法	-動詞、形容詞、名詞の丁寧形から普通形への変換:				
		<p>動詞</p> <p>ます-辞書形 ません-ない-形 ました-た-形 ませんでした-なかった-形</p>	<p>い形容詞</p> <p>暑いです-暑い 暑くないです-暑くない 暑かったです-暑かった 暑くなかったです-暑くなかった</p>			
		<p>な形容詞</p> <p>です-だ では/じゃありません-では/じゃない でした-だった では/じゃありませんでした-では/じゃなかった</p>	<p>名詞</p> <p>です-だ では/じゃありません-では/じゃない でした-だった では/じゃありませんでした-では/じゃなかった</p>			
11. 報告	文法	-「普通形 + とおもいます」の文法形式の紹介 (例: 今日学校へ行くと思います。など)			-ロールプレイ -ペアワーク -会話 -ドリル -質問と回答 -表現する -報告	8 時間
		-「普通形 + といいます」の文法形式の紹介 (例: サリタさんは今日学校へ来ないと言いました。など)				
		-「普通形 + でしょう? (例外あり)」の文法形式の紹介 (例: 明日は休みでしょう。今夜は雨が降らないでしょう。)				
12. 情報共有	フォーマルでない形	-学習した普通形を使用して、様々なことについて情報を提供する。 例: ご飯を食べない人はラムさんです。 昨日休んだ学生はサパナさんです。			-ロールプレイ -会話 -質問と回答 -ドリル	8 時間
13. 状況の記述		-様々な動作を行いながら状態の学習			-ロールプレイ -ペアワーク -質問と回答 -会話 -ドリル	6 時間
	文法	-「とき/と」の文法形式の紹介 -条件を「辞書形/ない形 + とき」の文法形式で説明				
		い形容詞 + とき	な形容詞 + なとき	名詞 + のとき		
		例: 学校に遅れるとき、連絡してください。 お金がないとき、友達に借りてください。 暑いとき、窓を開けてください。 暇なとき、勉強してください。 休みのとき、遊びに行きます。				
		-「辞書形 + と、」の文法形式の紹介 (例: ボタンを押すとお湯が出ます。ご飯を食べると眠くなります。など)				

14. 物をもらったり、あげたり		-人から物をもらったり、人に物をあげたりする会話の学習 -人からもらった好意と人にあげた好意について話す学習	-ロールプレイ -練習 -ペアワーク -質問と回答 -会話 -ドリル	6 時間
	文法	-「物をくれました」（例：ミラーさんは私に時計をくれました。など） -「人がくれました」（例：サパナさんがくれました。など） -「物をもらいました」（例：先生に本をもらいました。など） -「て-形 + あげます/もらいます/くれます」の文法形式の紹介 （例：学生にCDを貸してあげました。友達に案内してもらいました。先生が日本語を教えてくださいました。など）		
15. 状況を伝える	た形 + ら て形 + も	-動詞、形容詞、名詞の「た-形 + ら」「て-形 + も」文法形式を使用して、仮想的な状況を伝えることを学ぶ （例：飲んだら/飲んでも、暑かったら/暑くても、好きだったら/好きでも、雨だったら/雨でも）	-ロールプレイ -質問と回答 -会話 -ドリル -ペアワーク	6 時間
16. 作文	自由記述	-学習した文法形式と語彙を使った、様々なトピックについての作文 （例：私の学校、私の友達、私の家族、私の好きな物 など）	-筆記 -個人作業	2 時間
<b>学期試験</b>				<b>3 時間</b>
<b>合計</b>				<b>128 時間</b>

## 5. 学習促進

学習を促進するプロセスは、カリキュラムの不可欠な部分です。これにより、有意義な学習が保証されます。ファシリテーションを行う際には、教師は様々な教育学習方法を用いるべきであり、それによって教師はカリキュラムを実施することができます。とりわけ、日本語の学習は日本語を使って教えるべきです。しかし、文法を説明する際には、できる限り簡単な日本語や英語を使うことをお勧めします。翻訳は、本当に必要な場合にのみ使用してください。

### 5.1. 学習促進の原則

- ・ 簡単なものから複雑なものまでを行う
- ・ 口頭から筆記まで行う
- ・ 練習とドリルを用いる
- ・ 自然な学習順序で行う
- ・ マルチ技術でアプローチを行う
- ・ 真似させる
- ・ 学生のモチベーションを維持する
- ・ 正確に行う
- ・ 文脈を理解させる

## 5.2. 学習方法

上記の教育原理に基づいて、カリキュラムを全て行うには、次の方法とテクニックをご利用ください。

- ・ ペアワーク
- ・ 筆記
- ・ ロールプレイ
- ・ 物語
- ・ 報告
- ・ 歌
- ・ 議論
- ・ 辞書の使用
- ・ ゲーム
- ・ 絵カード/フラッシュカードの使用
- ・ 音読
- ・ 黙読
- ・ ブレインストーミング
- ・ 自由記述
- ・ ガイド付きの筆記
- ・ パズル
- ・ 手書き
- ・ 質問と回答
- ・ ドリル



## 6. 評価過程

成績評価には文字（筆記）採点方式を採用します。

### 6.1. 評価形式

- ・ 定期テスト（毎週、毎月）
- ・ 作成学習
- ・ チームワーク
- ・ ロールプレイ
- ・ 面接
- ・ 学習課程の監視
- ・ グループディスカッション

### 6.2. 総括的評価

学生の達成度を評価する重要な部分です。

#### A. 内部（学内）評価

内部評価を行うために、すべての学生の成績・パフォーマンス・行動記録は、担任の教師によって行わなければなりません。内部評価については、以下の表に示すようにさまざまな分野で、合計の評価点数の25%を占めます。

順番	評価分野	点数
1.	参加意欲（出席、授業の参加態度）	3
2.	聴解試験	8
3.	会話試験	8
4.	期末試験の点数	6
	合計	25

## B. 外部（学外）評価

外部評価は、指定された外部機関によって実施されます。外部評価については、合計の評価点数の75%を占めます。各言語能力分野の点数の割り当ては次のとおりです：

順番	言語能力分野	点数
1.	読解	25
2.	筆記	20
3.	文法	20
4.	漢字	10
	合計	75

## 6.3. 代替評価

特別要求やその他の能力を持つ学生のために、代替評価が作られて実施することができ、該当する学生の成績評価するために使用されます。

## 6.4. 試験仕様一覧

### A. 内部（学内）評価

順	評価分野	点数	評価のためのガイドライン
1.	参加意欲（出席、授業の参加態度）	3	出席率、授業への参加態度、および学生に出された宿題や学習中のパフォーマンスは、担任の教師によって評価されます。
2.	聴解試験	8	音声機器を使用して、ネイティブスピーカーまたは非ネイティブスピーカーによって話された音声を再生します。その上で、学生は音声を聞いて、適切な答えをを行う必要があります。
3.	会話試験	8	会話試験を実施します（各学校で実施できる、ネイティブスピーカーまたは非ネイティブスピーカーによって行います）。
4.	期末試験の点数	6	各試験の配点は2点とします。

## B. 外部（学外）評価

外部評価は筆記試験で行われます。試験の満点は75点で、試験時間は3時間です。特別な配慮が必要な学生には、追加時間を考慮することができます。

試験の読解、筆記、文法、漢字は、以下に基づいて実施されます。

読解	筆記	文法	漢字
学生の読解能力を評価するために、教科書ではなく他の教材のパラグラフ・会話・物語などを試験のために準備し、その文章に対する質問が出題されます。文章を読んで、学生は適切な答えを解答する必要があります。	学生の筆記能力を評価するために、学生のレベルに基づいた、特定のタイトルについて文章を解答させる質問が出題されます。	文法は特に重視されます。学生のレベルごとの文法形式に従って、さまざまな質問が出題されます。	学生の漢字能力を評価するために、漢字を書いて認識させる質問が出題されます。学生は一つの漢字または複数の漢字を組み合わせた単語で解答する必要があります。

### グレード 9

読解 25 点	筆記 20 点	文法 20 点	漢字 10 点
<ul style="list-style-type: none"> <li>-文章中の下線を埋める。 10 点</li> <li>-単語と文章を翻訳する。 5 点</li> <li>-読解</li> <li>○×問題、質問と回答 10 点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-文章を日本語に翻訳する。 5 点</li> <li>-数字を日本語に翻訳する。 5 点</li> <li>-文章を作る。 10 点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-正しい単語を選択する。10 点</li> <li>-文章を並べ替える。10 点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-正しい漢字を選択する。10 点</li> </ul>

グレード 10

読解 25 点	筆記 20 点	文法 20 点	漢字 10 点
-読解 ○×問題       10 点 質問と回答   15 点	-英語文章を日本語に翻訳する。5 点 -日本語文章を英語に翻訳する。5 点 -文章を作る。                   5 点 -短い作文を書く。           5 点	-文章中の下線を埋める。   10 点 -単語を適切な文法構造に変更する。   5 点 -正しい答えを選択する。   5 点	-ひらがなを漢字に変換する。5 点 -漢字をひらがなに変換する。5 点

上記の能力試験は、以下の模範質問でさらに説明します。

## Class 9 Final Examination (Sample Questions)

Time: 3 Hours

Full Marks: 75

Pass Marks: 35

1. Fill in the box with correct Hiragana letters.

(0.5x10=5)

あ		う		お
た		つ	て	
	び	ぶ		ぼ
	ぴ		ぺ	
にゃ				

2. Fill in the box with correct Katakana letters.

(0.5x10=5)

ア		ウ		オ
サ	シ			ソ
ダ			デ	ド
	ピ		ペ	ポ
キャ				

**3. Write in Hiragana (1X5=5)**

- (1) Ohayou Gozaimasu \_\_\_\_\_
- (2) Ogenki Desuka \_\_\_\_\_
- (3) Asatte \_\_\_\_\_
- (4) Itte Kudasai \_\_\_\_\_
- (5) Sumimasen \_\_\_\_\_

**4. Please translate the following sentence in Japanese.**

**{1X5=5}**

- (1) What is your name?  
\_\_\_\_\_
- (2) Where are you from?  
\_\_\_\_\_
- (3) I have two pen.  
\_\_\_\_\_
- (4) His elder sister is a student.  
\_\_\_\_\_
- (5) I always drink coffee.  
\_\_\_\_\_

5. Translate following numerals in Japanese.

(0.5X10=5)

(1) 65 \_\_\_\_\_

(2) 36 \_\_\_\_\_

(3) 112 \_\_\_\_\_

(4) 1500 \_\_\_\_\_

(5) 12000 \_\_\_\_\_

(6) 14380 \_\_\_\_\_

(7) 110000 \_\_\_\_\_

(8) 211100 \_\_\_\_\_

(9) 254367 \_\_\_\_\_

(10) 4624276 \_\_\_\_\_

6. Make sentences using the following words.

(1X10=10)

(1) ごはん

---

(2) トイレ

---

(3) まいにち

---

(4) ことし

---

(5) はなします

---

(6) 4:45 ふん

---

(7) かばん

---

(8) ともだち

---

(9) バイク

---

(10) 360 円

---



7. Correctly rearrange the jumbled sentences

(2X5=10)

(1) なまえ, ですか, あなたの, なん, は?

---

(2) どこ, いぬ, に, います, は, か?

---

(3) は, にほんご, すこし, わかります, が, わたし

---

(4) にちようび, きました, どこ, か, へ?

---

(5) いちばん, りょうり, ですか, で, かぞく, じょうず, が, だれ?

---

8. Choose correct words given in the bracket. (1X10=10)

- (1) あしたどこへ (行きます, 終わります, かえります) か?
- (2) おかあさんのたんじょうびになにを (かります, もらいます, あげます) か?
- (3) なまえは (なに, なん, どこ) ですか?
- (4) わたしはパンを (のみます, たべます, べんきょうします)
- (5) まいにちなにを (します, かえります, あります) か?
- (6) ひとは何んにん (います, あります) か?
- (7) きのうくるまを (かいます, かいました, よみます)
- (8) おくには (だれ, なん, どちら) ですか?
- (9) あのひとは (しんせつ, ハンサムな, きれい) ひとです。
- (10) カタカナが (だいたい, あまり, ぜんぜん) わかります。

9. Please select the correct kanji. (1X10=10)

- (1) やま (山, 川)
- (2) はは (母, 岡)
- (3) にちようび (月曜日, 日曜日)
- (4) ほん (本, 木)
- (5) いま (今日, 今)
- (6) たべます (食べます, 選べます)
- (7) きん (寺, 金)
- 8) まいにち (毎日, 毎月)
- (9) こども (子ども, ども子)
- (10) うち (内, 肉)

10. Read the passage below and answer the following questions.

やまだ 山田さんは ダンス が 好きです。毎晩 ダンスの 学校へ 行きます。ダンスの  
せんせい 先生は きれいな 人です。やまだ 山田さんは じょうず 上手では ありませんが、きれいな 先生  
なら 習いますから、毎日 楽しいです。先生の 誕生日に コンサートの チケット  
せんせい 先生を あげました。先生は 友達と 行きました。やまだ 山田さんは とても 残念です。

あ. Write ○ for the true and × for the false sentences. {1X5=5}

1. ( ) 山田さんは 毎日 ダンスの 学校へ 行きますから、ダンスが 上手 です。
2. ( ) 山田さんは きれいな 先生に ダンスを 習います。
3. ( ) 先生は 山田さんに コンサートの チケットを もらいました。
4. ( ) 山田さんは 先生と いっしょに 音楽を 聞きました。
5. ( ) 山田さんは ダンスが 好きじゃありません。

い. Answer the following questions. {1X5=5}

1. 山田さんは いつ ダンスの 学校へ 行きますか。

---

2. 山田さんは 先生の 誕生日に 何を あげましたか。

---

3. ダンスの 先生は だれと コンサート に 行きましたか。

---

4. ダンスの 先生は どんな 人 ですか。

---

5. 山田さんは ダンスが 上手 ですか。

---

## Class 10 Final Examination (Sample Questions)

Time: 3 hours

Full marks: 75

Pass marks: 35

### A. Write the Kanji for the following Hiragana words. 1X5

1. たべます
2. あたま
3. あたらしい
4. きた
5. あし

### B. Write the Hiragana for the following Kanjis. 1X5

1. 帰ります
2. 強い
3. 勉強
4. 話
5. 漢字

### C. Fill in the brackets with the correct particle 1X5

1. 何メートルぐらい泳ぐこと（ ）できますか。
2. わたしは母（ ）引越しを手伝ってもらいました。
3. スポーツは体（ ）ためにいいです。
4. 時間がありませんでしたから、何（ ）たべませんでした。
5. 去年大学（ ）卒業しました。

### D. Change the given words in the brackets into correct grammatical format. 1X5

1. お兄さんは（けっこんします）いますか。
2. アメリカへ3回（いきました）ことがあります。
3. そちらへ（いきます）はいけません。
4. すみません、消しゴムを（かします）ください。
5. お金が（ありません）、車が買えませんでした。

E. Translate the following sentences into Japanese. 1X5

1. I want to go to Okinawa.
2. I want a car.
3. He is doing his homework.
4. Yesterday it was a rainy day.
5. I must take medicine.

F. Translate the following sentences into English. 1X5

1. あした <sup>こ</sup>来なくても いい です。
2. 去年 <sup>きょねん</sup> 北海道 <sup>ほっかいどう</sup> で <sup>うま</sup>馬 に <sup>の</sup> 乗りました。
3. わたしは すもう が <sup>す</sup>好き です。
4. 暇な <sup>ひま</sup> とき、本 <sup>ほん</sup> を <sup>よ</sup>読みます。
5. わたしは <sup>きむら</sup>木村さん に プレゼント を もらいました。

G. Choose the most suitable answers from the options. 1X5

1. ( <sup>ぎゅうにゅう</sup>牛乳 ・ <sup>くだもの</sup>果物 ・ <sup>やさい</sup>野菜 ) を <sup>の</sup>飲みます。
2. この本を来週 <sup>ほん</sup> <sup>らいしゅう</sup> <sup>か</sup>の火曜日 ( <sup>まで</sup>まで ・ <sup>までに</sup>までに ・ <sup>まだ</sup>まだ ) <sup>か</sup>借りてもいいですか。
3. 旅行はとても楽しかったです。 ( <sup>りょこう</sup>ですから ・ <sup>たの</sup>そして ・ <sup>でも</sup>でも ) <sup>い</sup>つかれました。
4. 会議で何か ( <sup>かいぎ</sup> <sup>なに</sup> <sup>いけん</sup>意見 ・ <sup>い</sup>意味 ・ <sup>ようじ</sup>用事 ) <sup>い</sup>を言いましたか。
5. ( <sup>サイズ</sup>サイズ ・ <sup>チャンス</sup>チャンス ・ <sup>サービス</sup>サービス ) があつたら <sup>にほん</sup>日本へ <sup>い</sup>行きたいです。

H. Make sentences using the following words. 1X5

1. ずっと
2. <sup>つごう</sup>都合
3. <sup>さいきん</sup>最近
4. <sup>しけん</sup>試験
5. <sup>たか</sup>高い

I. Choose the most suitable option from the box and complete the sentences. 1X5

a. いいですよ    b. そうですか    c. ちょっと    d. お願いします<sup>ねが</sup>    e. そうですね

1. あした一緒にカラオケに行きませんか。——あしたは（    ）……。また今度<sup>こんど</sup>お願いします<sup>ねが</sup>。
2. 英語の本はあの棚の一番下にありますよ。——（    ）。 どうもありがとうございます。
3. すみません、ちょっと手伝ってください。——（    ）。
4. 天気がよくないですね。——（    ）。傘<sup>かさ</sup>を持ってきましたか。
5. 寒い<sup>さむ</sup>ですね。エアコンをつけましょうか。——（    ）。

J. Read the following paragraphs and answer the questions, below:

にほんご の しけん

がつ か げつようび ごぜん  
12月9日(月曜日) 午前9:00 ~ 12:00

1. 8時40分までに教室<sup>じふん きょうしつ</sup>に入ってください。
2. つくえの番号<sup>ばんごう</sup>を見て、あなたの番号<sup>ばんごう</sup>の所<sup>ところ</sup>に座<sup>すわ</sup>ってください。
3. 鉛筆<sup>えんぴつ</sup>と消しゴム<sup>け</sup>だけ机<sup>つくえ</sup>の上<sup>うえ</sup>に置いてください。
4. 「問題<sup>もんだい</sup>」は全部<sup>ぜんぶ</sup>で9枚<sup>まい</sup>あります。いちばん上<sup>うえ</sup>の紙<sup>かみ</sup>にあなたの番号<sup>ばんごう</sup>と名前<sup>なまえ</sup>を書いてください。
5. 答え<sup>こた</sup>は鉛筆<sup>えんぴつ</sup>で書いてください。ボールペン<sup>つか</sup>は使<sup>つか</sup>わないでください。

あ. Write ○ for the true sentences and × for the false sentences. 2X5

1. ( ) 8時40分までに 教室へ 来なければ なりません。
2. ( ) 机の 番号を 確認してから、座ります。
3. ( ) 机の 上に かばんを 置いても いいです。
4. ( ) 「問題」の 紙に あなたの 番号は 書かなくても いいです。
5. ( ) 答えは 鉛筆で 書かなければ なりません。

い. Write answers for the following questions. 3X5

1. 問題は 全部で 何枚 ありますか。
2. 試験は 何時から 何時まで ですか。
3. 試験は いつ ですか。
4. 何で 答えを 書きますか。
5. これは 何の 試験 ですか。
- 6.

K. Write a short paragraph about my school or my family in Japanese. 5


THE END

## 7. 備考

### 7.1 教師の資格

日本語教育を行う担任の教師は、以下の資格を持っている必要があります。

- ・ 流暢な日本語を話すことができる。
- ・ +2（高等学校）卒業、またはそれ以上の学歴を持つ。
- ・ 説明をするために日本語以外の言語を話すことができる。
- ・ 日本語能力試験（JLPT）の N4、N3、N2、N1 のいずれかの資格を持つ。
- ・ 教師の最低レベルは、指導する日本語レベルより 1 レベル以上、上のレベル資格を持っている必要がある。  
例：グレード 9 ・ グレード 10 の教師は JLPT N4 レベル以上

### 7.2. 授業規模と条件

- ・ 授業を開始するには、最低人数は 5 人、最大人数は 20～25 人である必要があります。
- ・ グレード 11 からの日本語授業への参加を希望する学生は、JLPT N5 の資格証明書を持っている必要があります。  
この資格証明書がないと、学生はグレード 11 の授業を受講する資格がありません。

### アドバイス：

- ・ 教師は、初期レベルの指導方法について学び、少なくとも 2 ～ 3 か月の教師トレーニングを強制的に受けなければなりません。
- ・ 郊外の教師は、少なくとも 2 か月（100 時間）のオンライン授業で教師トレーニングを受ける必要があります。
- ・ 教師は、効果的な学習を行うために毎日の報告記録を作成する必要があります。
- ・ 教師は、さまざまな指導方法と学習方法を学び、実践する必要があります。